

末吉 住吉神社の流鏝馬

【所在地】曾於市末吉町二之方住吉 住吉神社（（住吉神社）流鏝馬保存会）

【種別】県指定無形民俗文化財

【指定年月日】昭和 56 年 3 月 27 日



住吉神社例祭の 11 月 23 日，五穀豊穰などを祈願して行われる行事である。同社の流鏝馬については，『三国名勝図会』に「例祭九月廿五日，十一月廿五日。其十一月の祭祀には，流鏝馬一騎を施行す」とあって，江戸時代にも注目される行事であったことが知られる。

射手は，以前は 3 人の壮年の射手が交替でつとめていたが，最近は町内の主に中高生 2～3 人が，この大役を果たす。射手の服装は狩衣に綾藺笠で中世の巻狩の姿である。流儀は，矢を放ったあとに両腕を水平に広げる宮崎神宮と同じ系統の小笠原流をとり入れている。神事のあと，260m の馬場に 40m 間隔で並ぶ 3 つの的に馬上から射るのを 3 回くり返す。的は昔は平木を何枚も組み合わせで作った。矢の当たった的の平木で家を葺くと，家が栄えるといわれた。また矢が多く的中すれば翌年は豊年であるといわれる。